



1. 6年生から本田校長へ、本田校長から須田市長へ、真紅の校旗が返納された / 2. 児童と地域の皆さんが最後の校歌を歌う / 3. 児童代表の栗谷龍平さんと渡邊菜月さんに掛川小学校の制服が送られた / 4. 卒業生たちが石田地区の伝統芸能「瀬鰯の舞」「霊山太鼓」を披露した

「ありがとう、石田小」

3月26日、統合により閉校する石田小学校で閉校式とお別れ会が行われました。閉校式では、須田市長が「石田の地で受け継がれてきた気質や風土を大切に、人材を育成します。」と式辞を述べました。本田一恵校長は「閉校は寂しさを感じますが、これからも石田の温かさを守ってってください。」とあいさつ。児童代表から本田校長、本田校長から須田市長に校旗が返納され、149年の歴史に幕を閉じました。お別れ会では、児童11人が校歌を演奏し、卒業生が「瀬鰯の舞」「霊山太鼓」を披露。石田小で過ごした日々の思い出と感謝の気持ちを地域みんなで分かち合いました。



市長コラム 第53回

「WBCに感動!!」

須田 博行

WBCで日本が優勝し、再び野球熱が高まっています。昔、野球をやっていた身としてはとてもうれしく思っています。

日本チームの戦いは全てすばらしい内容でしたが、特に準決勝のメキシコ戦はすごかったですよね。8回に2点勝ち越されたときはさすがに負けかなと思いました。

でも、チャンスは必ずあると信じて諦めなかった日本チームは、9回の村上選手の2点タイムリーで劇的な逆転サヨナラ勝ちにつなげました。本当に鳥肌が立つ試合でした。

これまで打撃不振で、この日も4打数ノーヒット3三振の村上選手を信じて代えなかった栗山監督。「最後はお前で勝つんだ」とずっと言い続けてきた信念の采配が、最後に実を結びました。メジャーリーグの公式サイトで、WBC史上最高の試合とされたすばらしいゲームでした。

さて、ここからはあまりにもレ

ベルの違う話で恐縮ですが、私が野球をやっていた中学の頃の話をさせてもらいます。私のポジションはサードでしたが、なにせコントロールが悪いため、よくファーストに悪送球をしてしまい、そのために負けた試合も幾度かありました。毎試合恥ずかしいやら申し訳ないやらで本当に悩みました。

普通なら次の試合はベンチかポジション変更なのですが、監督は私を代えませんでした（代えの選手がいなかったのが正直なところですが）。私は、何とか監督の期待に応えようと秘密の特訓に励み、結果として、その後は多少良くなったように記憶しています。あの時、ポジションを代えられていたら自信をなくして練習もしていなかっただろうし、部活もやめていたかもしれないと思うと、使ってくれた監督に感謝しています。WBCの試合を観戦していて、あの頃のことを懐かしく思い出しました。

※ WBC…ワールド・ベースボール・クラシック